

平成 25 年度の資金運用方針、運用管理体制について

平成 24 年度の結果を踏まえ、基本的にはその方針を継承しながら①分散投資、②リスク・リターンの管理・運営体制の充実を盛り込んだ「平成 25 年度の資金運用方針、運用管理体制について」に基づき、慎重かつ着実に進めてまいりたいと考えております。今後も、ご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 資金運用の目的

資金運用収入は、本学の給付奨学金など、様々な基金事業による事業費に充当する。

2 資金運用の基本方針

- (1) 有価証券運用限度額は、一定流動性資金を確保した後の範囲内とする。
- (2) ミドルリスク・ミドルリターンの運用を含め、分散投資（国内債券・外国債券・国内株式・外国株式）を行う。
- (3) 当年度の運用目標は、1.0%程度とする。ただし、今後 5 年で長期国債の利回りをもとに 1.0%～1.5%とする。
- (4) リスク・リターンの管理体制の充実を図る。

3 リスク管理について

有価証券ごとのリスク管理ルールに基づき具体的な運用を行う。また、必要があれば早急にリスク管理ルール策定を行う。

4 平成 25 年度の資金運用方針、運用管理体制の骨子

- (1) 平成 25 年度末想定ポートフォリオは次のとおりとする。

資産区分	現預金	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式	その他 (仕組債)	合計
資産配分	53%	25%	7%	1%	1%	13%	100%
乖離幅	—	±2%				—	

- (2) 仕組債は発行体の信用リスク状況を注視しつつ、引き続き保有する。
- (3) 基本方針を踏まえ、当年度の運用目標は 1.0%程度とする。
- (4) 債券運用に関しては、本学の中長期計画に応じ運用期間の組み合わせを勘案する。
- (5) 「資金運用委員会」「資金運用小委員会」「資金管理小委員会」による運用方針・実施・管理によるチェック体制を充実する。

以上